

令和5年7月国見町教育委員会定例会 会議録

1. 招集日時 令和5年7月21日（金） 午後5時15分
2. 招集場所 観月台文化センター
3. 出席委員 1番委員 高橋 幸子（教育長職務代理者）
3番委員 中村 裕美
4番委員 引地 亨
5番委員 菊地 弘美（教育長）
4. 欠席委員 2番委員 志村 裕美
5. 説明のため出席
教育総務課長 大勝 晴美
教育施設課長 中條 伸喜
生涯学習課長 小野 笑子
指導主事 高橋 正浩
6. 書 記 課長補佐兼総務係長 豊野 好洋
こども教育係長 五十嵐 佐和
7. 傍 聴 者 なし
8. 開 会 午後5時15分
9. 教育長あいさつ
10. 会議の成立 教育長が、教育委員3名の出席であり、会議が成立していることを宣言した。
11. 会議録署名人 会議録の署名人について、3番中村裕美委員、4番引地亨委員を教育長が指名した。
12. 会期の決定 教育長が会期を諮り、本日1日とすることを決定した。
13. 会議録の承認 事務局より6月定例会会議録の概要について説明し、異議なく承認された。
14. 教育長報告
 - (1) 6月議会定例会報告について
 - ①くにみ学園基本構想に関する町長表明について、別紙資料のとおり報告した。
 - ②補正予算について、スポーツ振興の宝くじで補助が頂けるということで、総合型スポーツクラブPR事業委託として120万円ほど計上させていただいている。

部活動の地域移行に関連して、部活動指導員の手当について、当初予算では報償ということで謝礼として考えていたが、きちんと会計年度職員に位置づけをしたため報酬になる。通勤手当で計上しているところが変わった。

被災事業、東日本大震災被災児童の就学支援事業を継続してほしいと陳情があったため、議会で採択をしている。

山崎議員からは、保育料の無償化について質問があった。無園児の状況から入って聞かれた。保育所に通わないで家庭で保育をしている方が該当しているだろう。幼稚園になると、企業内保育とか認可外保育等に行ってしまうと数が掴めないということでお答えさせていただいた。保育所に通っていないお子さんの数は今年6月現在0歳児で16人、1歳児で10人、2歳児で3人、ただ保育所は希望して通うところではないので、あくまでも保育に欠ける人が対象となるため、両親が働いているようなお子さんが入れる。条件に合わない方と希望して通わせられない方がいらっしゃるということで理解をいただければと思う。町の保育料についても質問があった。保育料の金額については国が10段階の基準で示しており、その基準を参考にしている。国は上限が10万4千円。町は上限を3万5千円に設定している。国が10段階のところを、町では4段階のところを途中を分けて細かくし10段階くらいにしている。周辺の地域も上限を決めているが、比べてみると国見の方が相対的に見ても低いという答弁をさせていただいた。保育料を無償化にしたらという質問については、保育所は保育に欠けるダブルワークのご家庭とかそういう家庭のお子さんを預かることになる。誰でも預けられるということではないので、保育所に行ってる世帯と自ら保育をしなくてはならない世帯での不公平感が出てくると考えている。この辺は課題だろうと答弁はしている。国が異次元の少子化対策ということで、名称が「子ども誰でも通園制度」というのを検討しているようだ。希望すれば誰でも保育園に通えるようになる。国が制度として作ればまた別の話になってくるだろうが、現場感覚で考えると、保育所に通える状況にない方が30人近くいらっしゃるので、その方が全員入るとなると面積的な制約の問題が出るし、一番の問題は保育士の数。それが全国的になると無謀なことなのではと考えている。これについては答弁はしていないが。

松浦議員からは、くにみ学園の質問があった。ワンテーブルの関与はあるのか、国見町の第6次総合計画の部分で、改訂した時に議会の議決はなかったのではないかと聞かれた。総合計画は基本構想と基本計画の二つで成り立っている。基本構想は大事なところを選定して作っていてそこは議決が必要、ただしそこから派生する施策的なことは、町長の執行権なので、総合計画審議会で決定をもらえればくにみ学園については修正が可能であること。あくまでも修正なので審議会で了解を得て修正をしているということをお答えさせていただいた。

蒲倉議員からは、平仮名のくにみ学園と漢字の国見学園の違いを教えてくださいとの質問があった。平成26年から始まっているコミュニティスクールへの保幼小中連携の一貫教育ということで、漢字の国見学園で総称している。そこ平仮名のくにみ学園はどう違うのかという質問があった。漢字の国見学園はコミュニティスクールが国見学園としてずっとやってきているという説明と、平仮名のくにみは0歳から15歳の昨年議論してきたものですよと答弁させていただいた。同じように保幼小中一貫教育の違いだったり等質問があった。こども園が先なのかというところの質問もいただいた。保護者も含めて意見を聞いて進めていきたいというような答弁をさせていただいた。

(2) 教育長出席会議等について

教育長の出席会議・行事等について、別紙資料のとおり報告した。

15. 議事

議案第16号 令和6年度使用小学校・中学校用教科書用図書の新採択について【非公開】

教育総務課長より別紙資料に基づき説明し、異議なく承認された。

16. 協議・報告

【協議事項】

1 義務教育学校（新庄市立明倫学園）視察研修について

義務教育学校視察について、別紙資料に基づき報告した。

なお、各委員より出された意見は次のとおり。

高橋委員 ぜび議員にも見てもらいたい。私たちが知っている教育の現場とは違う空間を体験することができた。校舎も新しく使い勝手がよくできているが、建物よりも学校は人だと思った。あの校長先生がいらっしゃるからすごく上手くまわっている。本人も仰っていたが、校長を誰にするかで決まる。カリスマ性があり、前に進んでいく感じ、あの校長先生から学ぶことはたくさんあると思った。9年生が1年生の面倒を見る形は桜の聖母のシスター制度のよう。1年生がたった3か月の学校生活だがゆったりして落ち着いていた。先生が1人と言うよりも、9年生の生徒の関わりがすごく良い。すぐ取り入れたいと思うが、これは同じ施設にいるからできること。学校は、子どもや保護者が穏やかに学んだり成長できることを目的にしていくべきだなと思った。

教育長 多目的スペースは実際に作っていたのか。

高橋委員 作ってある。県北中学校の各階にある多目的スペースみたいな感じ。区切ることもでき、体育館も貸し出すことができる。セキュリティも安全。

中村委員 ハード面について、立地は人口の中心地が理想。児童生徒保護者だけではなく地域の学校になるのであれば大事なことだと思う。そうすることによって、スクールバスの稼働も少なくなり、徒歩や自転車登校が増え、体力の問題、地域に根差した理想に叶った学校だなと思った。明倫学園の敷地はとても広く恵まれていると思った。一つの小学校と一つの中学校の間に市道があったが、既存の土地で利用できて中学校のグラウンドに建設したというのもあってスムーズに進められ、仮校舎が必要なかった。ハード面についての感想だが、地域の方々から理解を得られる場所が必要だと感じてきた。ソフト面について、教育課程が前期4年、中期3年、後期2年。これは成長の段階で理にかなっているなと思った。3回リーダー経験ができるというのもすごくいい。その中でも、中期の5年生から7年生、ここを手厚くすると話していた。確かに、5年生から7年生は学習が急に難しくなったり、反抗期がこの頃なので、小学校から中学校の移行期を大切にしていた。7年生から始まる教科教室制。生徒が移動するので、先生たちの準備負担が減る。同じ学校へ通うというマンネリ化防止については、毎年クラス替えをすること。制服については5年生から採用するという事でメリハリがつく。

一番印象に残るのは校長先生。教育への情熱が素晴らしい。教頭先生も教育課程ごとに3人いて、それぞれの各課程に集中できてすごくいい。教職員は個々で信念をもって向かい合っているようで、校長先生がリーダーシップを発揮している部分だと思った。ソフト面の感想は、児童生徒、保護者、地域の方々のために学校が変わるには人材や育成、質の高さが大切だなと思った。子どもの人口が年々減少しているのは世の中の流れだと思っているが、学校は少数派なのでそのメリットデメリット、それが必要になる時

期を考えていかななくてはならない。関係している方々や地域の方々がなくてはならない学校という施設、集まる場所にしてほしいと思った。

教育長 地域の人との関わりは明倫ではこれからか。

引地委員 出来たばかりだからこれから。

高橋委員 外構はまだ工事中で完成していない。

引地委員 校長先生のリーダーシップと子どもに対する情熱が形になっているのだろう。

こういうトップに立つ人をいかに見つけるかが最重要なのでは。実際に現場を見て校長先生の話の聞くと、もっとよくわかる。一度は行って肌で感じてもらいたい。漠然と考えていたものがこれかとわかる。時間を作って足を運んでもらいたい。

【報告事項】

1 国見町部活動地域移行推進協議会委員の委嘱について

部活動地域移行推進協議会委員の委嘱について、教育総務課長より別紙資料に基づき報告した。

2 国見町子ども読書活動推進会議委員の委嘱について

子ども読書活動推進会議委員の委嘱について、生涯学習課長より別紙資料に基づき報告した。

3 国見町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会委員の委嘱について

総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会委員の委嘱について、生涯学習課長より別紙資料に基づき報告した。

4 東北六県教育委員会連絡協議会研修会について

教育総務課課長補佐より、研修会の報告について別紙資料に基づき報告した。

5 教育総務課報告

- ① いじめ事案の報告について【非公開】
- ② 国見町いじめ問題対策連絡協議会について
- ③ 県北中学校職場訪問について
- ④ 県北中学校職場体験について
- ⑤ コミュニティ・スクール委員会について
- ⑥ くにみ幼稚園へ桃贈呈について
- ⑦ 子ども議会について
- ⑧ 中体連について
- ⑨ 学級閉鎖について

6 教育施設課

- ① くにみ学園基本構想に関する保護者説明会について

7 生涯学習課報告

- ① 公民館事業について
くにみ観月台カレッジについて
- ② 地域学校協働本部事業について
(1) 少年仲間づくり教室について、
(2) 国見っ子わんぱく広場について
(3) 子育てリフレッシュ教室について
- ③ 図書事業について
(1) 子ども司書講座について
(2) 子ども移動図書館について
(3) 大人の文学講座について
- ④ 芸術文化事業について
キッズシアターについて
- ⑤ スポーツ事業について
町民ハイキングについて
- ⑥ 今後の予定について

8 その他

- ・令和5年8月教育委員会は、8月21日(月)午後5時15分より観月台文化センターで開催予定
- ・福島県市町村教育委員会連絡協議会主催の教育委員・教育長研修会は、8月24日(木)午後1時より、パルセいいざかで開催
- ・総合教育会議 11月中旬の予定、次回定例会でテーマを協議予定
- ・守秘義務について

17. 閉 会 午後8時5分

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

令和5年7月21日

議事録署名人

3番委員

4番委員

会議書記

課長補佐兼総務係長